

体に関する相談を受け付けています。

町では令和元年度に鏡野町森林づくりセンターを設立し、山林全体に関する相談を受け付けています。森林の経営管理に関することもご相談ください。

## 観光の振興

担当：産業観光課

電話：(0868)54-2987

Q9. 温泉があるのにもつたいないと思いません。奥津温泉がさびれて淋しいので活性化してほしいです。

A9. 策定を進めている北部地域の観光ビジョンを基に、地域資源を活かした魅力の高い建物や持続可能な施設運営などを検討してまいります。

Q10. 鏡野町はとても良じうろだと想いますが、町外、県外の人にはあまり知られてないのは、とても残念に思います。津山も含めて観光地として栄えたらいいのにという思いがあります。映画やドラマのロケ地として、積極的にアピールしてみてはいかがでしょうか。

A10. 岡山県フィルムコミッション協議会と連携したロケ誘致に取り組んでいます。令和4年度前半には鏡野町内で長編映画のロケも予定されており、積極的なPRに取り組んでまいります。

## 学校教育の充実

担当：学校教育課

電話：(0868)54-2800

Q11. 学校の耐震が気になります。

A11. 町内の学校施設における耐震補強の

## 自然環境・景観の保全

担当：くらし安全課

電話：(0868)54-2780

Q14. 太陽光パネルの大規模設置が年々増

必要な個所については、すべて補強工事を完了しております。

## 生涯学習の推進

担当：生涯学習課

電話：(0868)54-0573

Q12. 鏡野町には自然がくれた美しい環境や、自然が作った他にはない断層などがあるため、観光や教育に利用すると良いのではないかでしょうか。

A12. 名勝奥津渓や、大野の整合など町の特徴的な自然環境は、学校の校外学習や研修等の教材として活用しています。

町内にはこの他にも特徴的な文化資源がありますので、これらについても町内外にPRできるよう努めています。

## 防災対策の推進

担当：くらし安全課

電話：(0868)54-2780

Q13. 大雨や台風等で警報が出ている時、細かい地区での情報が欲しいです。防災について、自分の住んでいる所がどういつ状態になつたら避難すべきかなどを知りたいです。

A13. 気象台等からの情報をもとに、可能な限り細かい避難情報の発信に努めています。新しいハザードマップを全戸に配布いたしましたので、自宅の位置を確認していただくとともに、自ら早目の避難行動をお願いします。町では、くらし安全課への防災マネージャーの配置や、防災士の資格取得の促進など、防災力強化に努めています。

## 地域情報化の推進

担当：くらし安全課

電話：(0868)54-2780

Q16. 鏡野町の情報がもうと多く入れば良いなと思うことがあります。SNSによる情報発信を行つてみてはどうでしようか。

A16. 効率的な情報発信方法を検討してまいります。

まます。

地域の施設、学校、団体などと連携を取りながら広報紙、ケーブルテレビ、告知放送、

えていますが、自然環境の破壊と野生動物の住処をなくす行為です。害獣被害も増えますし、自然や私たちの住む場所を守るためにも考えていく必要があるのでないでしょつか。

A14. 町民の生活環境を第1に考え、環境への十分な配慮を行つてまいります。

国では、「2050年カーボンニュートラル」の実現のため、再生可能エネルギーの利用を推し進めています。太陽光発電は、カーボンニュートラル実現のためには必要であると認識していますが、町民の生活環境を第1に考え、環境への十分な配慮を行つてまいります。

## 公共的交通機関の充実

担当：まちづくり課

電話：(0868)54-2982

Q17. 町のバス停がどこにあるかわからない。地図上でわかりやすくしてほしい。

A17. インターネット及びスマートフォン利用者向けとして、地図情報サイトに町のバス停が反映されるよう対応しております。

町ホームページにバスマップの掲載を予定しています。町内のバス停が記された「広域バスマップ」は、鏡野町役場及び各振興センターに設置しておりますので、ぜひ活用ください。

## 効率的な行財政の運営

担当：産業観光課

電話：(0868)54-2987

Q18. ふるさと納税が他の町と比べて少ないと思う。もっと町内の产品を活用して、頑張ればどうですか。町オリジナルの物をもっと見つけるべきです。

A18. 返礼品の開発を含め、異なる魅力向上と発信に向けて検討してまいります。

ふるさと納税は寄附金という性質であつたため令和3年度までは総務課が担当していましたが、令和4年度から産業観光課へ事務を移管しています。返礼品の開発を含め、異なる魅力向上と発信に向けて検討してまいります。

ホームページなどで情報発信に努めています。観光情報と防災情報については、SNSを利用した発信を行っています。災害や防犯などの緊急情報や、「行政からのお知らせ」「安心・安心かがみの情報メール」、ごみ収集日の確認ができるアプリ等もあり、今後も効率的な情報発信方法を検討してまいります。